



ペレット製造など豊かな自然を生かした環境に優しいバイオマス事業について説明をうけました（真庭市）

豊富な森林資源をバイオマスに活用 岡山県真庭市

真庭市は、豊かな自然と地域資源を生かして環境に優しい「バイオマスタウン真庭」としてまちづくりをしています。事業としては、豊富な森林資源を活用したもので、エネルギーとしての利用や建設資材、燃料としてのペレット製造等多岐にわたります。これらは行政主導ではなく森林組合や木材組合、NPO法人などの民間事業者が主導し、企業環境を考

え、無駄を無くすことから始められました。行政はこれを全面的にバックアップし、また、バイオマスツアーと称した視察を有料で受け入れることで観光事業としても成功しています。

本市も広大な森林を生かした環境に優しいバイオマス事業を進めるべきではないかと感じました。

災害の学習と防災対策を備えた施設 兵庫県姫路市

姫路市の「ひめじ防災プラザ」は、市民が過去の災害からさまざまな教

訓を学ぶことや、災害時における適切な行動について学習できる施設です。また、建物内には消防本部や消防指令センター、常設の災害対策本部等があり、災害時には迅速に対応できるようなっているほか、震度7の地震にも耐えられる免震構造で建設された建物でした。この建物には、市内外からの見学者も多いとのことでした。

市民の安心安全、防災教育のため、本市でも検討していくべきではないかと考えさせられました。（委員長 山本純雄）



市全体で総合病院化する「地域完結型医療」について説明を受けました（中津市）

地域完結型医療で黒字経営 大分県中津市

中津市は、赤字経営に陥り廃止対象になった「国立中津病院」を国から経営移譲を受け、市立病院として存続させました。「地域完結型医療」という理念を掲げ、開設以来7年間にわたる黒字経営を高く評価され、自治体立優良病院として大臣表彰を受けています。この理念は、市立病院で担当強化する診療科と、市内にある優れた単科病院

ひとり暮らし高齢者すべてに見守り 大分県由布市

ひとり暮らし高齢者等が、住みながら地域で安心して暮らしていけるよう、安否確認等の見守りをし、日常生活の安定および孤独感の解消に寄与することを目的とした「高齢者見守り事業」をすべてのひとり暮らし高齢者を対象に実施してまいりました。この事業は、事業の一部を老人クラブ連合会に委託して、老人クラブで1週間に1回、30分程度の訪問を行うものです。

高齢者が安心して暮らせる環境はどうあればよいのか、参考にしたいと思いました。（委員長 鎌田政子）

委員会 行政視察レポート

福祉

産業建設

総務

文教

各委員会では、それぞれの所管事務の調査を行うため、先進地の視察を行いました。視察の内容について報告いたします。

<視察日>

総務	11月12日～14日
文教	11月12日～14日
福祉	11月5日～7日
産業建設	11月4日～6日



高齢者を対象とした商店街活性化について説明を受けました（松江市）

高齢者を対象とした商店街活性化 島根県松江市

松江市は、高齢化が進み活力が低下した天神町商店街を活性化させるため、市・商店街関係者の発想に基づいて、「お年寄りにやさしいまちづくり」をコンセプトに、官民一体になって方策を検討し、高齢者向けのさまざまな取り組みを行っています。空き店舗を活用した高齢者の交流施設や街路のバリアフリー化、また、

大田市は、昨年「石見銀山遺跡とその文化的景観」が世界遺産登録されたことにより、登録後は観光客が急増しました。しかし、受け入れ面の整備不足のため、近隣の温泉地へ宿泊するケースが多いことから、今後、市内滞在型観光に力を入れるとのことでした。本市においても、早池峰神楽や平泉の遺産登録が実現したとき、これを地域経済の活性化にどう結びつけるかが重要であると感じました。（委員長 藤原米光）

世界遺産を地域経済の活性化に 島根県大田市

認知症対策の神像「おかげ天神」を商店街の中の神社に建立し、毎月「天神市」を開催するなど、高齢者の生きがいづくりと世代間交流の場として、商店街は活気を取り戻したとのことでした。高齢化が進む中、高齢者を対象として活性化を図っていく考え方は参考となるものでした。



オープンスクール、エコスクールとして特色があり、市内全域から選択できる品野台小学校（瀬戸市）

児童生徒の減少を見据えた施策を 愛知県瀬戸市

瀬戸市では、隣接学校選択制を導入して、隣接している学区を中心に入学できる制度です。数年後には市街中心地区や山間部の地区では児童数・生徒数の激減が想定されることから、教育委員会としても抜本的な見直しに迫られています。条件などは違いますが、本市でも同様の問題を抱えており、将来を見据え

呉市では、小中一貫教育を平成12年度から行っており、中学校で低下する学習意欲や、中学校で急激に増える「いじめ」「不登校」の解消に向けて取り組んでいる。小中学校の9年間を4・3・2年に分け、特に5・6・7（中一）年生の3年間という心と体のバランスが伴わない時期にきめ細かい指導をしており、義務教育を修了するのにふさわしい学力と人間関係力の育成、中学校入学時の不安の解消と自尊心の向上を目的としています。自尊感情の回復の向上・学習力向上・いじめ不登校の減少と、すべての項目で顕著な成果が表れており、本市でも取り組むべきことが多々あるのではないかと感じられました。（委員長 大原健）

小中一貫教育でいじめ不登校解消 広島県呉市

た施策が必要と考えさせられました。